

伊丹市立瑞穂小学校 令和7年度 学校経営方針

学校教育目標 「いのち」 かがやく 瑞穂の子 ～心豊かに たくましく～

めざす子ども像

ー自ら考える子ー

・学び合う子(知)

自分の考えを高め、正しく判断する子

・感じ合う子(徳)

豊かな感性と思いやりのある子

・育ち合う子(体)

最後までやりぬくたくましい子

みずから考えチャレンジする子

めざす学校像

ーあしたも来たいと思える学校ー

・一人ひとりが輝き、高め合う学校

・美しく安心して学べる学校

・活気に満ち、誇れる学校

・家庭、地域から信頼される学校

・Well-being(子どもの幸せ)実現へ

チーム MIZUHO になる学校

ずっと来たい学校

めざす教師像

ー優しさと厳しさをもち、

子どもから信頼される教職員

・学び続ける教職員

・人間性豊かな教職員

・共に育ち合う教職員

(子どもと、保護者と、

地域と、仲間と)

ほとばしる情熱溢れる教職員

努力目標

～一人の子どもをより多くの目で（組織的対応を行う）～

1 確かな学力の向上

◎「主体的・対話的で深い学び」で、基礎的基本的な知識・技能を習得させ、自分から考える学習態度を育てる。

◎一人一人の教育的ニーズを把握し、関係機関と連携し、適切な教育的支援を行う。

◎「個別最適な学びと協働的な学び」等の学習形態を創意工夫し、思考力・判断力・表現力の向上を図る。

○学びを深め合う学習集団づくりに努め、学習意欲の向上を図る。

○家庭と連携を図り、読書、家庭学習の習慣化に努める。

2 豊かな心づくり

◎望ましい生活習慣を身につけさせ、豊かなコミュニケーション力を育み、不登校や問題行動等の未然防止に向け、組織的に取り組む。

◎「いのちかがやくみずほ子プラン（学級指導計画）」を作成して交流し、学級経営力の向上に取り組む。

○「いじめ防止等のための基本方針」に基づき、いじめの防止に努める。

○道徳の時間を要として、体験活動の充実を図り、道徳的実践力・自尊感情を育む。

○家庭・地域・幼稚園・中学校・関係機関との連携を深め継続的な指導に努める。

3 体力の向上と生活習慣の改善

◎体力向上と健康の保持増進を目指した体育授業や保健学習の改善を進める。

◎家庭・地域と連携し、「早寝・早起き・朝ご飯」や睡眠時間確保等の望ましい生活習慣形成を図る。

4 学年・学級経営の充実

◎教職員自らが研鑽に努め、授業研究・授業公開をととして実践的指導力の向上に努める。

○一人一人の子どもにとって「心の居場所」のある学級づくりと、自尊感情の向上に努める。

○教師間の情報交換を密にし、教師集団の連携を強化する。

5 「縦の連携」の推進

◎幼小の架け橋と小中9年間を見通したカリキュラムの推進に努める。

6 家庭・地域・関係機関との横の連携の充実

◎学校運営協議会との連携を深め、子どもの健全な育成と生命を守る安心・安全な学校づくりに努める。

○積極的な情報提供やオープンスクールなどを展開し、開かれた学校づくりに努める。

7 教職員の育成

◎業務改善により勤務時間の適正化を図り、教職員の健康増進に努める。

○研修の充実を図り、教職員の資質向上を図る。

○教職員の同僚性を高め、組織的な取組を実践する。